

# 個人投資家様向け会社説明



2026年6月12日

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)

代表取締役 社長執行役員Co-CEO & COO 谷脇 康彦

東京証券取引所 プライム市場 (証券コード：3774)

## 1. 会社概要

## 2. IIGグループの強み

## 3. FY25決算概要・FY26事業計画・中長期ビジョン

## 4. 株主還元

# 1. 会社概要

## 2. IIJグループの強み

## 3. FY25決算概要・FY26事業計画・中長期ビジョン

## 4. 株主還元

## 1-1. 会社概要・経営理念

# 日本初の本格的商用ISP<sup>(※1)</sup>として日本のインターネット網を創設 大企業・官公庁を中心に自社開発の月額ネットワークサービスとSI<sup>(※2)</sup>を併せ提供

### 経営理念



「インターネットイニシアティブ」との社名の通り、100年に一度の技術革新であろうインターネットの世界において、その技術革新をリードし、新たな利用形態を提案する画期的なサービス、プラットフォームの提供を通じて、ネットワーク社会の発展に貢献していく。

- ・ 技術革新によりネットワークインフラストラクチャーを発展させる
- ・ ネットワーク社会を支える仕組み（ITサービス）を提供する
- ・ 自己実現する職場の提供（多様な才能・価値観を有する人材が活躍できる場）

商号	株式会社インターネットイニシアティブ（略称：IIJ）
創業	1992年12月3日
代表者	代表取締役 会長執行役員 Co-CEO 鈴木 幸一（創業者） 代表取締役 社長執行役員 Co-CEO & COO 谷脇 康彦（2025年4月1日就任）
連結従業員数	5,533名（約7割が技術者） ※2026年3月末時点
事業内容	インターネット接続サービス、モバイルサービス、アウトソーシングサービス、WANサービス及びシステムインテグレーション構築・運用保守 等

(※1) ISP（インターネットサービスプロバイダー）：インターネットサービス事業者。インターネットへの接続やWebホスティング機能などをサービスとして提供する。

(※2) SI（システムインテグレーション）：顧客の目的に合わせた情報システムの設計、構築、運用などによって提供すること。

## 1-2. 事業内容

売上区分		FY25売上	原価構造	粗利率	主なサービス内容・事業状況等								
ネットワークサービス	法人向けインターネット接続	538.9億円	共通コスト中心	27.1%	<table border="1"> <tr> <td>IP</td> <td>186.4億円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モバイル</td> <td>法人モバイル (IoT等)</td> <td>182.0億円</td> </tr> <tr> <td>MVNE (他MVNO卸)</td> <td>119.8億円</td> </tr> </table> <p>(その他) ブロードバンド接続サービス等</p>	IP	186.4億円	モバイル	法人モバイル (IoT等)	182.0億円	MVNE (他MVNO卸)	119.8億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業来のコアサービス</li> <li>帯域保証・マルチキャリア・冗長構成</li> </ul>
	IP	186.4億円											
	モバイル	法人モバイル (IoT等)			182.0億円								
		MVNE (他MVNO卸)			119.8億円								
個人向けインターネット接続	286.7億円	<table border="1"> <tr> <td>モバイル</td> <td>MVNO (IIJmio)</td> <td>252.8億円</td> </tr> </table> <p>(その他) 家庭用ブロードバンド接続サービスやメールサービス等</p>	モバイル	MVNO (IIJmio)	252.8億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>IoT・法人・個人等のモバイルトラフィックを共通インフラに収容することでインフラ稼働率向上を展望</li> </ul> <p>法人利用拡大で収益率向上・利益増加を展望</p> <p>◆ IoT等で増加する法人データ通信を吸収</p>							
モバイル	MVNO (IIJmio)	252.8億円											
アウトソーシング	676.2億円	<table border="1"> <tr> <td>セキュリティ</td> <td>409.1億円</td> </tr> </table> <p>(その他) リモートアクセス、データセンターやクラウドサービスの一部等</p>	セキュリティ	409.1億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>メールセキュリティ、DDoS対策等のネットワークセキュリティ、ファイアウォール、Webゲートウェイ、SASE、SOC等の多様なセキュリティサービスを提供</li> </ul>								
セキュリティ	409.1億円												
WAN (Wide Area Network)	285.5億円	<p>多拠点を結ぶ閉域網ネットワーク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期安定市場</li> </ul>										
SI	運用保守	957.7億円	原価＋利益	16.1%	<table border="1"> <tr> <td>構築したシステムの運用保守等</td> <td>588.7億円</td> </tr> <tr> <td>プライベートクラウド等</td> <td>369.0億円</td> </tr> </table>	構築したシステムの運用保守等	588.7億円	プライベートクラウド等	369.0億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>構築したシステムの運用保守、構築案件増加に伴い積み上げ加速</li> <li>高信頼・高付加価値なクラウドサービスラインアップ</li> </ul>			
	構築したシステムの運用保守等	588.7億円											
プライベートクラウド等	369.0億円												
構築 (含む機器販売)	678.7億円	<p>ネットワークシステムの設計・コンサルテーション・開発・構築、顧客への機器販売等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業や官公庁等の旺盛なネットワーク更改需要を背景に増収を牽引</li> <li>サービスインテグレーションモデルで大型案件獲得増加</li> </ul>										

月額ストック売上 約8割

一時売上

### 1-3. 事業モデル

自社開発のネットワークサービス等を組み込んだシステムインテグレーション「サービスインテグレーション」モデルでネットワーク更改等の大型案件獲得増加  
総額10億円以上の大型案件獲得 FY24：約450億円（15件） ➔ FY25：約620億円（19件）

企業や官公庁等を中心とした顧客

サービスインテグレーション

ネットワークサービス

アウトソーシングサービス

セキュリティ

パブリッククラウド

メールゲートウェイ

SASE

VPN

etc.

インターネット接続サービス

IP

モバイル

IoT

MVNE

MVNO

etc.

WAN サービス

閉域網

グローバルWAN

etc.

システム  
インテグレーション

システム構築

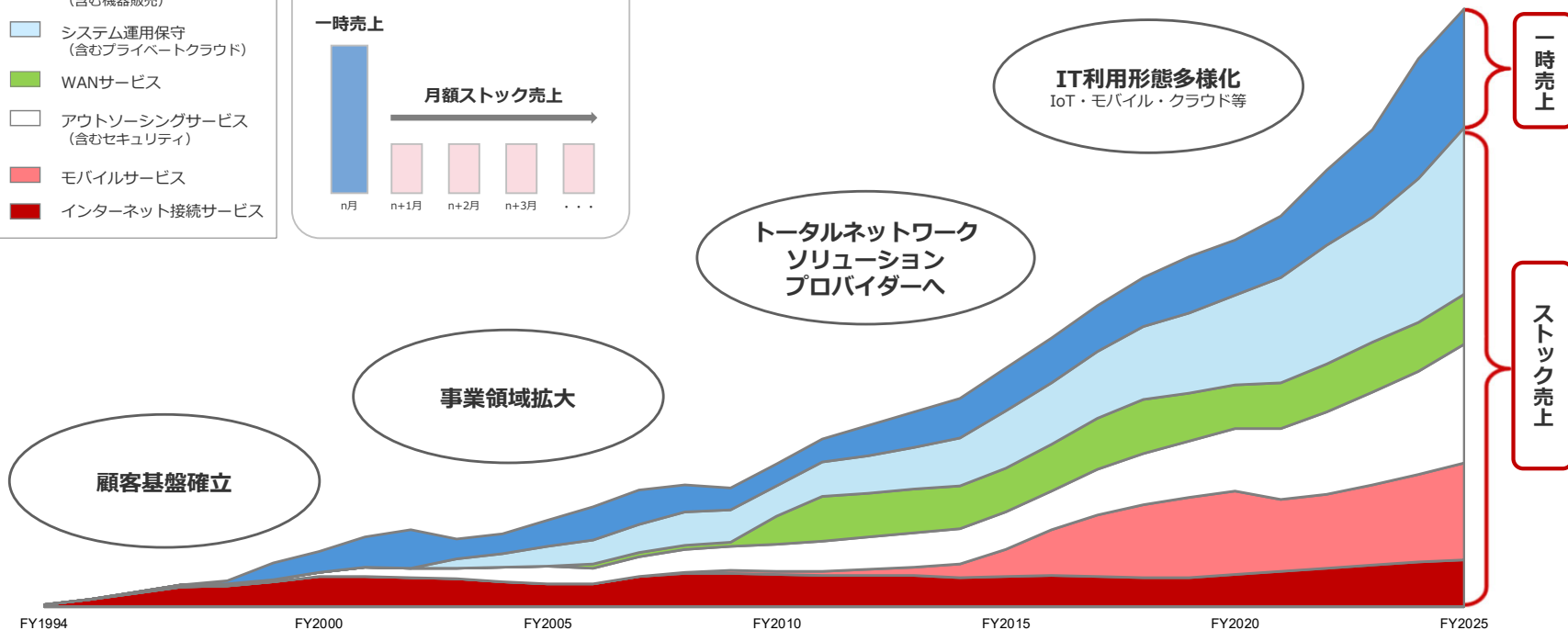
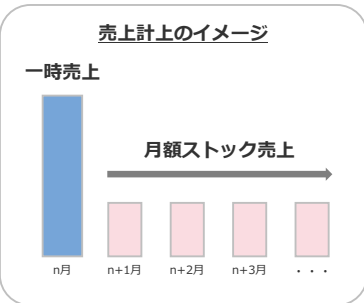
システム運用保守

プライベートクラウド

etc.

# 1-4. IIJグループの事業展開

- システム構築  
(含む機器販売)
- システム運用保守  
(含むプライベートクラウド)
- WANサービス
- アウトソーシングサービス  
(含むセキュリティ)
- モバイルサービス
- インターネット接続サービス



<p><b>ISP事業者急増</b> IIJインターネット接続サービス提供開始 (93年) NTT社OCNサービス提供開始 (96年~)</p>	<p><b>ISP価格競争・市場淘汰</b> IIJは法人フォーカスにより市場でのポジション確立</p>	<p><b>緩やかなクラウド移行</b> クラウドサービス提供開始 (09年~)</p>	<p><b>格安SIM市場誕生</b> IIJ個人向けモバイルサービス提供開始 (12年~)</p>	<p><b>コロナ禍契機でDX始動</b> リモートアクセスサービス等の需要急拡大</p>	<p><b>社内システム・NWの大きな変化</b> NW利用を前提とした構成に変化</p>
--	--	--	--	---	---

1. 会社概要

**2. IIJグループの強み**

3. FY25決算概要・FY26事業計画・中長期ビジョン

4. 株主還元

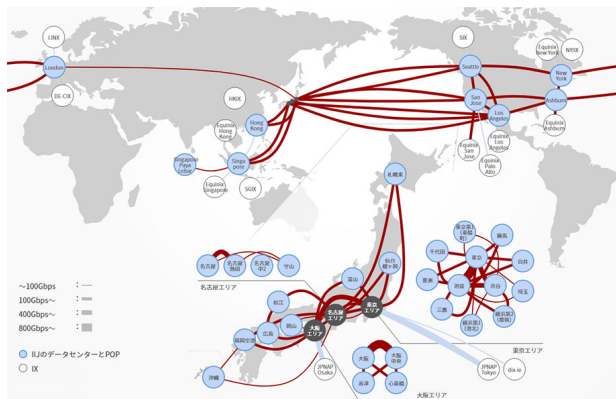
## 2-1. 強み① 国内最大規模のインターネットバックボーンと信頼性の高い運用力

### インターネットバックボーン

- ◆ 国内最大規模のインターネットバックボーンを自社で運営
- ◆ 米国・欧州・アジアへネットワークを延伸し、世界各国の通信事業者との相互接続協定を締結
- ◆ 「日本の主要なネットワークプレーヤー」として、世界と日本を結ぶ役割を担う
- ◆ 冗長かつマルチキャリア・マルチベンダーで構成し、大規模災害等の不測の事態が起こった場合においても止まらない高い可用性を実現

### 運用力

- ◆ 従業員の約7割が技術者
- ◆ 30年以上にわたり蓄積されたインターネット運用技術で障害耐性の高いバックボーンを運用



IIJネットワーク稼働率

**99**.9999%

年間停止時間は30秒以下

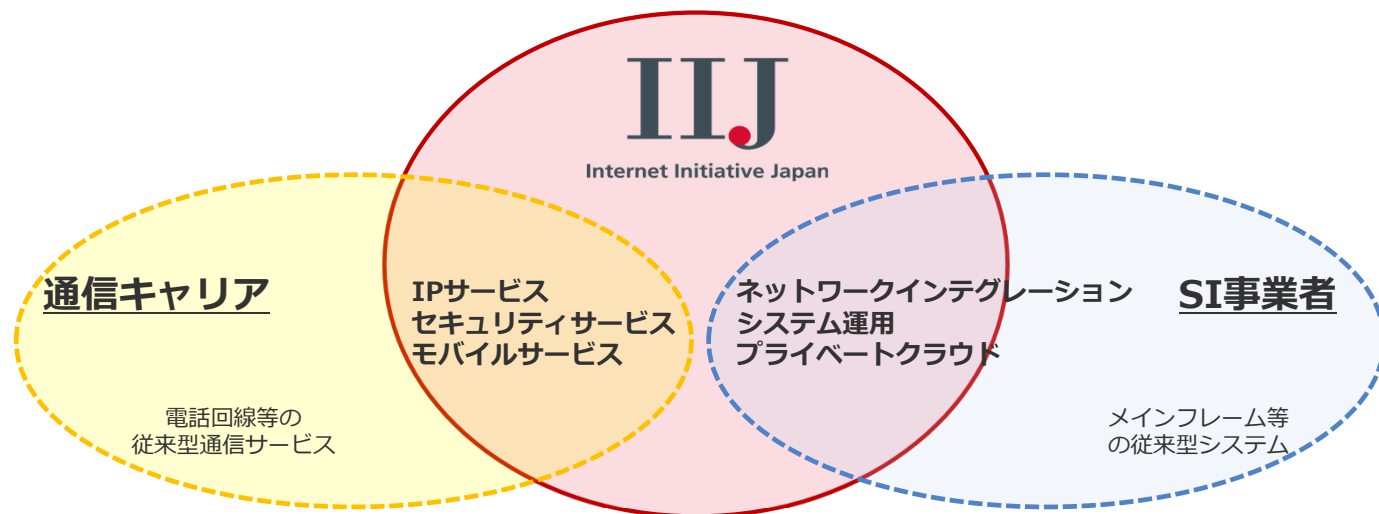
## 2-2. 強み② 独自のポジションで競争優位性を発揮

### 対通信キャリア：

- 優秀なIP（Internet Protocol）エンジニア集団
- 需要を先取りした革新的なサービスの開発・提供
- NWサービスとSIを複合提供

### 対SI事業者：

- 大規模インターネットバックボーンを自社で構築・運用
- NWサービスアセット・開発能力
- インターネット関連のシステム構築中心



IIJは従来型のレガシーで重厚長大なシステムには関わらず  
成長市場のオープンタイプのITシステムに注力

## 2-3. 強み③ 月額ストック売上を中心とした収益構造

◆ 月額計上されるストック売上が売上高の約8割を占め、堅調に成長

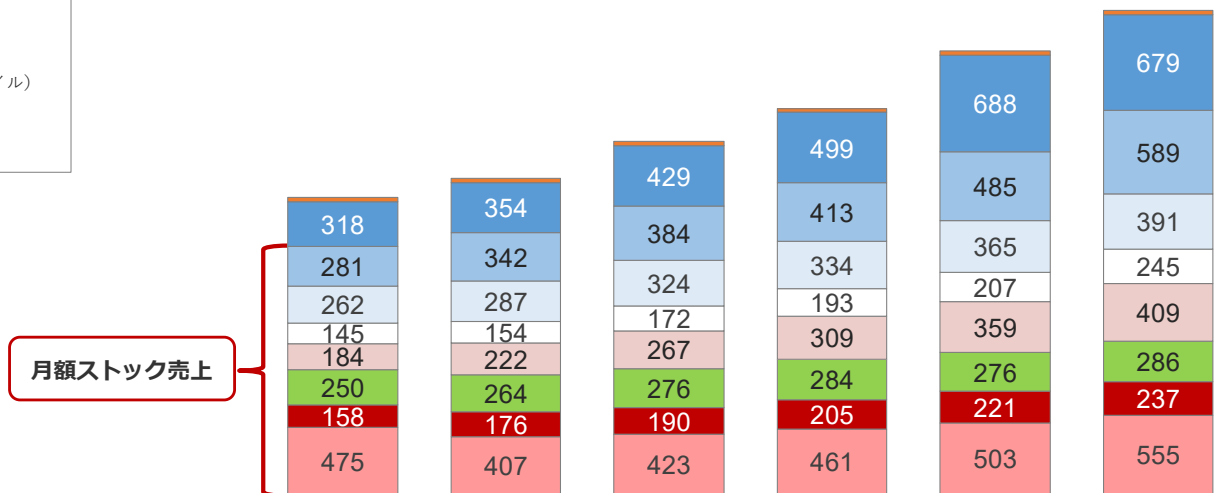
◆ 主要コストの多くは売上増減に直接連動せず、売上増加に伴うスケールメリット発揮で利益継続拡大

➢ 主要コスト：インターネットバックボーン等の回線リース料、ネットワーク機器等の減価償却費用・保守費用、技術者人件費（サービス開発・運用）・外注費、ソフトウェア等のライセンス費用、データセンター運営費用、モバイルサービス提供のためのモバイルデータ接続料・音声仕入れ

### 売上

- ATM運営事業
- SI構築
- SI運用保守（除くクラウド）
- クラウドサービス
- アウトソーシングサービス（除くセキュリティ・クラウド）
- セキュリティサービス
- WANサービス
- 法人向けインターネット接続サービス（除くモバイル）
- モバイルサービス
- 個人向けインターネット接続（除くモバイル）

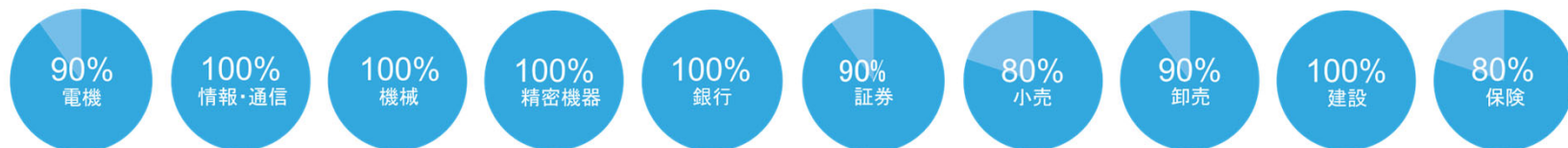
	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
売上高	2,130億円	2,263億円	2,527億円	2,761億円	3,168億円	3,454億円
増収率	4.2%	6.3%	11.7%	9.2%	14.8%	9.0%
売上総利益	403億円	516億円	579億円	639億円	684億円	762億円
粗利率	18.9%	22.8%	22.9%	23.1%	21.6%	22.1%



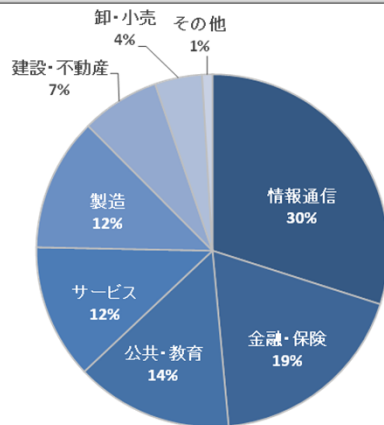
## 2-4. 強み④ 優良顧客基盤

- ◆ IJグループ顧客数 約16,000社（26年3月末）
- ◆ 信頼性のある運用で1990年代からインターネット接続サービスを継続利用
- ◆ 創業来の安定インフラ運用、クロスセル戦略継続遂行等で低解約率

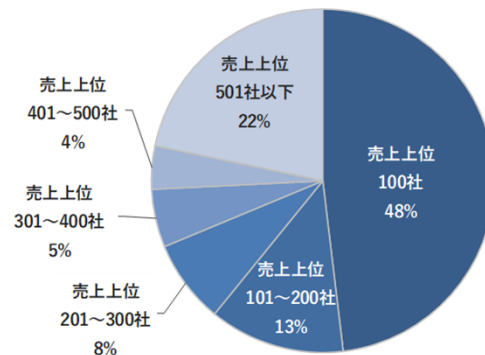
### 業界売上上位10社に占める高いシェア



### 顧客業種別売上分布



### 顧客取引高別売上分布



- ・ 業界売上上位10社への浸透率は、業界ごとの連結売上高上位10社（出典：Yahoo!ファイナンス・売上高・全市場・デイリーを基に当社作成）のうち、IJがサービスを提供している比率であり、FY25 IJ単体実績を基に当社作成
- ・ 顧客別/顧客業種別売上分布はFY25 IJ単体実績を基に当社作成

1. 会社概要

2. IIJグループの強み

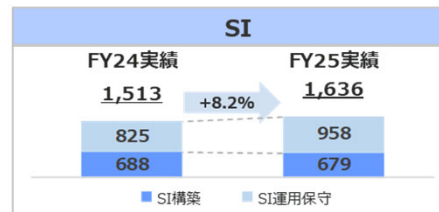
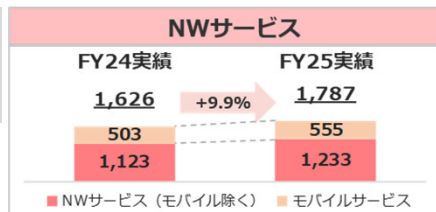
**3. FY25決算概要・FY26事業計画・中長期ビジョン**

4. 株主還元

### 3-1. FY25決算概要

大型サービスインテグレーション獲得が恒常化、ストック売上継続伸長  
 インフラ活用でNWシステム基盤供給との展開・グローバルビジネス拡大等  
 中長期成長加速に向け事業領域を拡張中

	売上高比 FY25実績 (2025年4月～2026年3月)	売上高比 FY24実績 (2024年4月～2025年3月)	前年 同期比
売上収益	3,454.0	3,168.3	+9.0%
売上総利益	761.7	684.0	+11.4%
営業利益	348.4	301.0	+15.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	241.9	199.3	+21.3%
1株当たり配当金	¥39.00	¥35.00	+¥4.00
ROE	16.2%	15.0%	-



- NWサービス**
- ◆ 新規サービス開発・既存サービス機能強化、販売体制強化等で積上げ注力
  - ◆ NWサービス月額積上げは成長強まるも期待値までは至らず
  - ◆ サイバー攻撃高度化等に伴いセキュリティサービス売上拡大継続 409億円・+13.8%
- SI**
- ◆ 旺盛なNW構築等大口需要継続、SI運用保守大幅増収
    - ・受注：構築 840億円・+38.1%、運用保守 1,231億円・+26.9%
    - ・期末受注残高：構築 319億円・+102.1%、運用保守 1,270億円・+27.4%
  - ◆ SI運用保守積上げ・売上規模増加等で粗利率向上 16.1% (+1.7pt YoY)
  - ◆ 大型サービスインテグレーション案件\*獲得恒常化、100億円超案件2件獲得
- \*期間総額10億円以上の案件
- FY25トピックス**
- ◆ 自社サービス需要拡大に備えデータセンター拡充
    - ・白井DC3期棟着工（25年6月）、松江DCシステムモジュール棟運用開始（25年6月）
  - ◆ IoT事業派生機会でソーニーセミコンダクタソリューションズ(株)と合弁で子会社センシファイア設立（26年2月）、土壌水分等精緻計測との特異技術でセンサー事業展開
  - ◆ ディーカレットDCP：トークン化預金概念の社会浸透継続で事業化案件増加中

## 3-2. FY24-FY26中期計画の進捗

事業領域拡張等で事業成長加速を実践中  
中計業績ターゲットに売上は超過推移・営業利益は下振れ推移も  
中長期の利益スケールメリット発揮に向け展開中<sup>(※)</sup>

### NWサービス売上

FY25  
1,787億円

約1.2倍

FY23  
1,513億円

### SI売上

FY25  
1,636億円

約1.3倍

FY23  
1,218億円

### 月額ストック売上

FY25  
2,745億円

約1.2倍

FY23  
2,233億円

### 大型案件獲得

FY25  
19件・620億円

約1.9倍

FY23  
10件・338億円

### 総セキュリティ売上

FY25  
484億円

約1.4倍

FY23  
348億円

※NWサービスとSIの合計

### グローバルビジネス

FY25  
457億円

約1.3倍

FY23  
353億円

### モバイル総回線数

FY25  
約640万回線

約1.3倍

FY23  
約483万回線

### 人的資本

FY25末  
5,533名

約1.2倍

FY23末  
4,803名

※中期計画（FY24～FY26）FY26売上高3,800億円、営業利益460億円

### 3-3. FY26事業計画

単位：億円

FY26	売上高比		売上高比	
	上期 (2026年4月～2026年9月)	前年 同期比	通期 (2026年4月～2027年3月)	前年 同期比
売上収益	1,800	+11.2%	3,850	+11.5%
	21.7%		22.3%	
売上総利益	391	+11.2%	857	+12.5%
	8.5%		10.0%	
営業利益	154	△0.2%	385	+10.5%
親会社の所有者に帰属する	5.3%		6.5%	
当期利益	96	△4.8%	250	+3.4%
1株当たり配当金	¥21.50	+¥2.00	¥43.00	+¥4.00
ROE	-	-	15.8%	-

SI・各サービスプロダクトの提供から統合サービスオファリングへ

NW・システム インフラ運用が事業・技術基盤



#### 事業拡大好機としてサービスインテグレーション戦略拡張

- 従来領域にサイバーセキュリティ対応ビジネス強化・情報システム部門アウトソース需要対応等を上乘せし拡張
- 売上大幅伸長・スケールメリット発揮・クロスセル強化で利益向上を展望

#### NW技術・運用力で競争力一層発揮 新サービス開発、NWシステム基盤の改善を継続

- 自社NWインフラ活用し特定業界・領域への最適プラットフォーム提供で差別化、運用力で付加価値発揮
- 中長期成長ドライバーとの新NWサービスを継続開発中
- NWシステムインフラ基盤の増強・再構築含む最適化を継続遂行

#### AI事業戦略を加速 NWサービス事業者としてメリット最大享受

- 中長期でNWサービス基盤へのAI適用・顧客向け付加価値発揮
- 全社AI活用での生産性向上で人的資本ボトルネックの解消
- 顧客向けAI基盤ソリューションのSI・運用提供

### 3-4. 中長期ビジョン

## 中長期ビジョンを見据えたコア領域強化と次世代収益基盤の構築

更なる企業価値向上へ

#### 中長期ビジョン

サービス提供事業者として売上高 5,000億円規模へ

- ・ コア領域に最注力。国内有数のリーディングポジション確立
- ・ NWサービスを中核にAI等の先端技術を融合させ社会課題解決と企業のアウトソース需要に応えるサービス提供事業者の地位を確立。データ流通・連携ビジネスは本格的な事業化・収益化フェーズへ移行し、実効性ある成長施策として具現化

中長期以降の成長に向けた強化

大型ITアウトソース

社会課題解決

グローバル展開加速

#### 現中期計画 (FY24-26)

コア領域を徹底強化し事業規模拡大を加速

- ・ ネットワークを軸に、サービス機能およびサービスインテグレーションを強化顧客ニーズに応じた付加価値の高いサービスをタイムリーに提供
- ・ 現中計における新たな成長領域を見据え、経営直轄プロジェクトチームにて重点施策を実行。AIやデータ流通・連携ビジネスなど次期中核商材創出に取り組む

経営直轄重点施策

データ流通・連携ビジネス

サイバーセキュリティ強化

イノベティブな人的資本強化

#### 前中期計画 (FY21-23)

法人向けストック売上の拡大を軸に持続的な利益基盤を構築

- ・ コロナ禍の旺盛なIT環境整備需要に応える形で強みのあるネットワーク、セキュリティ領域を中心に事業規模の拡大
- ・ 従来より多岐に渡る領域においてストック収益基盤を構築し持続的な企業成長が実現できる素地を形成

1. 会社概要

2. IIJグループの強み

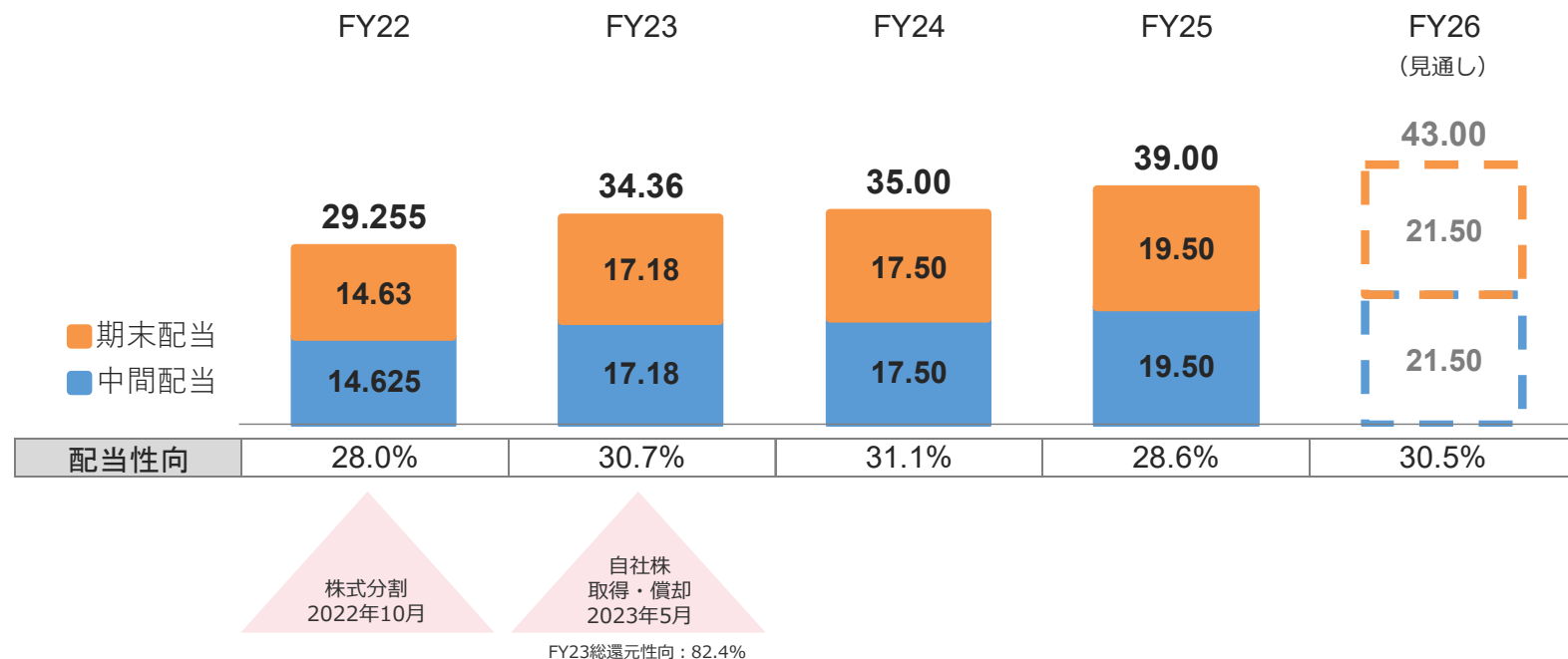
3. FY25決算概要・FY26事業計画・中長期ビジョン

**4. 株主還元**

## 4-1. 株主還元の方針

単位：円

- ◆ 株主還元の基本方針：  
財務体質の強化、中長期的な事業拡大・投資等のための内部留保に配慮しつつ安定的な配当を継続
- ◆ 1株当たり配当額の推移：



ご視聴いただき誠にありがとうございました。

### ・株主・投資家様向け情報

弊社の決算説明資料や開示資料のほか、プレスリリースや「よくあるご質問」のコンテンツを充実させております。また、「IRメール配信」にご登録いただくと、弊社から決算情報やIR関連情報をタイムリーにお知らせいたします。是非ご活用ください。

<https://www.iij.ad.jp/ir/>



▶IRメール配信のご案内

<https://www.iij.ad.jp/ir/ml/>



### ・統合報告ポータル

弊社は、株主・投資家をはじめとした様々なステークホルダーの皆様へ、弊社グループが事業を通じて社会課題を解決し、持続的に成長する姿をご理解いただくため、2022年6月に「統合報告ポータル」を公開いたしました。財務及び非財務の視点を統合すると共に、中長期的な視点で価値を創造していくにあたって重要な情報を掲載しています。

<https://www.iij.ad.jp/ir/integrated-report/>



### 事業等のリスク

本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。